

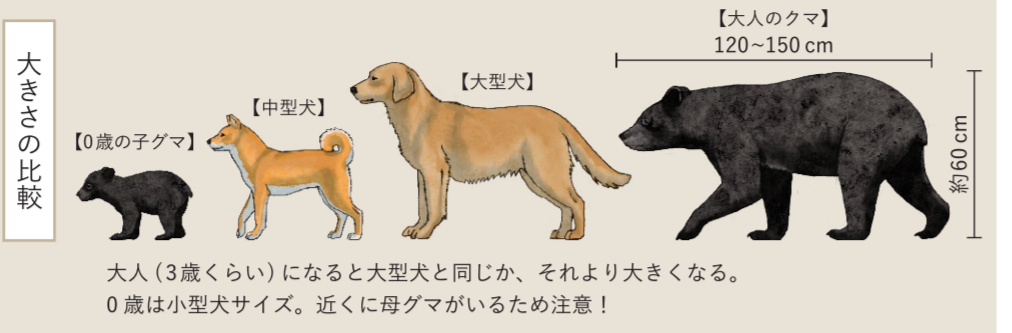
軽井沢町は20年以上にわたって、ヒトとクマとの共存の道を模索してきました。住民の皆さま一人ひとりの行動と、行政や対策チーム等のとりくみが、その歩みを支えています。クマの生態を正しく知ることが、地域の安全と安心につながります。自然が豊かな町での暮らしのガイドとして、ぜひ活用してください。

クマとの事故を防ぐために 自然と共生するまち、軽井沢



1. クマについて

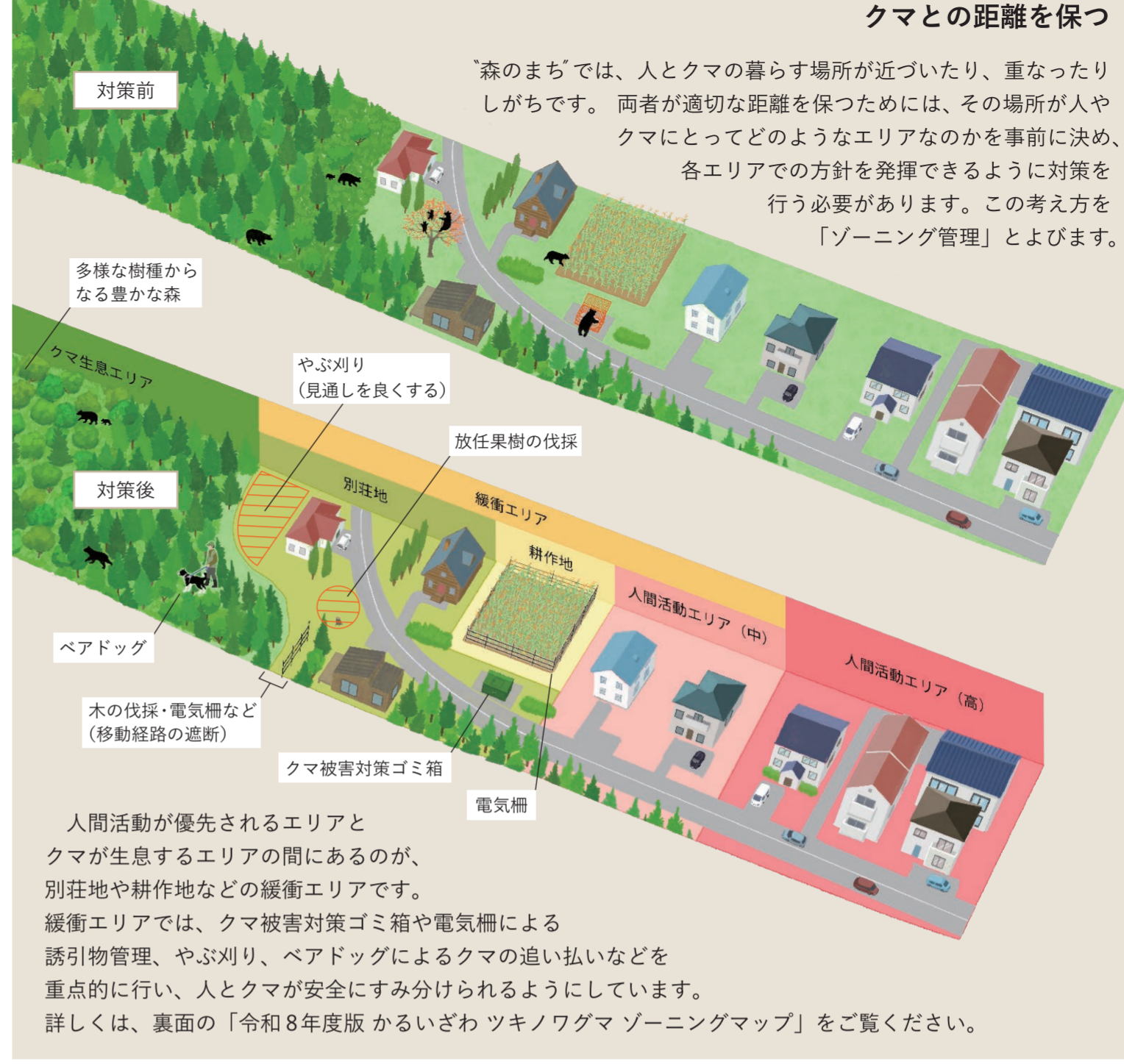
軽井沢に生息するクマはツキノワグマです。全身真っ黒で大人になると大型犬より大きくなります。草や若芽、クワ、キイチゴ、サクランボ、クリやドングリなどの植物を中心に食べており、アリやハチも大好物です。なお、胸の「月の輪」模様は1頭1頭異なり、新月（模様なし）から半月まで様々です。



2. “森のまち”軽井沢でクマと安全にすみ分けるには

クマとの距離を保つ

“森のまち”では、人とクマの暮らす場所が近づいたり、重なったりしがちです。両者が適切な距離を保つためには、その場所が人やクマにとってどのようなエリアなのかを事前に決め、各エリアでの方針を発揮できるように対策を行う必要があります。この考え方を「ゾーニング管理」とよびます。



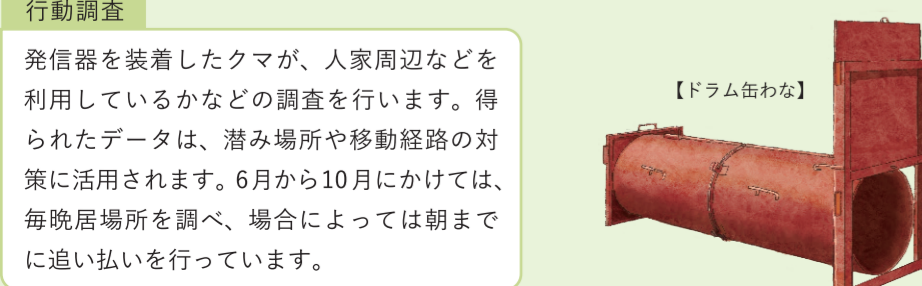
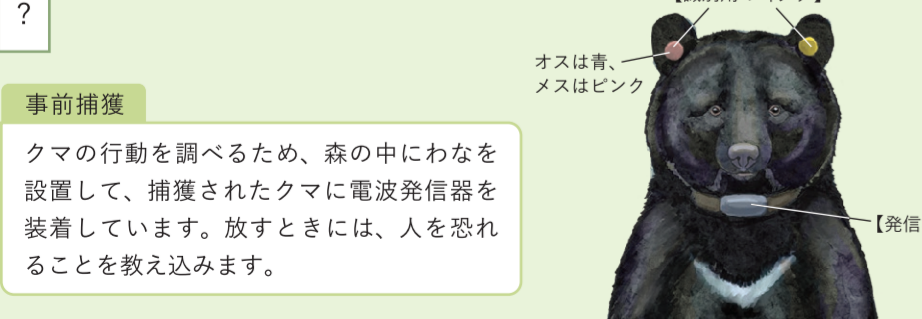
人間活動が優先されるエリアとクマが生息するエリアの間にあるのが、別荘地や耕作地などの緩衝エリアです。緩衝エリアでは、クマ被害対策ゴミ箱や電気柵による誘引物管理、やぶ刈り、ベアドッグによるクマの追い払いなどを重点的に行い、人とクマが安全にすみ分けられるようにしています。詳しくは、裏面の「令和8年度版 かるいざわツキノワグマ ゾーニングマップ」をご覧ください。

3. 軽井沢のクマ対策

1頭1頭のクマの個性に注目して

- ① 環境整備（近づかせない）
 - ② 侵入防止（入れさせない）
 - ③ 捕獲
- この3つの対策を組み合わせる必要があります。
- ③については動物の種類に応じた方法が必要で、クマの場合は行動の問題レベルに見合った「個体管理」を実施しています。

なぜ「個体管理」か？
クマはなわばりを持たず、1頭1頭、行動の違いが大きい動物です。被害を確実に防ぐためには、問題行動をとるクマを特定することが大事です。このため、電波発信器を利用した行動調査や追い払いに力を入れています。なお、問題行動が多くなったクマは捕獲を行います。



※町外を含めて30頭ほどを追跡できるようにしています。すべてのクマに発信器がついているわけではありません。

ベアドッグで、クマを傷つけずに人を守る

人とクマの良好な関係づくりのために、アメリカの“Wind River Bear Institute”によってカレリア犬がベアドッグ（クマ対策犬）として使われ始めました。カレリア犬は、フィンランドのカレリア地方で、ヒグマなどの狩猟に長らく使われてきました。獲物に噛みつかず、周りで吠えて足止める性質が、クマも犬人も傷つかない対策でも役に立つのです。現在は3世代目と4世代目となる2頭が活躍しています。

- ① クマの追い払い
 - ② 誘引物・移動経路の特定
 - ③ スタッフの安全確保
 - ④ クマを理解するためのきっかけ作り
- ベアドッグになるには——
実は、すべての子犬がベアドッグとして働けるわけではありません。生後2~3か月頃に行う適性テストを経て、素質のある子犬をベアドッグとして訓練します。



4. 個人でできる対策

一人ひとりの心がけと行動が、ヒトとクマの両方を守ります

“森のまち”軽井沢では、どこでもクマと遭遇する可能性があります。ゴミや人の食べ物にはクマにとって魅力のある誘引物となるため、適切に管理する必要があります。



クマとの接触事故を防ぐためには、近くで出会わないようにすることが大事です。クマがいそうな場所を知り、自分の存在をアピールすることで、不意の遭遇を避けましょう。

- 軽井沢のクマ情報、メール配信サービスを利用する。
- 夕方から朝にかけて、天候が悪い時は特に注意。
- 看板などを参考に、クマがいる場所をできるだけ避ける。
- 林の中で穴や凹みに近づかない。
- クマが好む果実をつける樹には注意。
- クマを興奮させて引き付けることがあるため、犬のリードを離さない。
- クマ鈴やラジオなどの鳴り物を携帯し、やぶ周辺や見通しの悪いところでは、積極的に自分の存在を知らせる。

それでもクマに出会ってしまったら

- クマが遠くにいる場合
そのまま通り過ぎてください
 - クマが50メートル以内にいる場合
様子を見ながら後ずさりして離れてください
 - 子グマを見つけた場合
近くに母グマがいます直ちに離れてください
 - 背中を見せて走って逃げない
クマは時速約40kmで走れます
 - 接触してしまったら
うつ伏せになり、両手を首の後ろで組んで顔や首、お腹を守ってください
- 【クマスプレー】
万が一、クマが向かってきた場合には有効です。
- 正しい使い方動画 ▶



制作：日本クマネットワーク